



高温障害対策に

農林水産省登録
第23110号

殺菌・植物成長調整剤 **フジゴン® パルコ**

白未熟粒の発生を軽減!!

白未熟粒
(乳白粒)



完全粒



詳しくは
特設サイトを
チェック!

その他の白未熟粒



心白粒
中心部が白濁



基部未熟粒
基部が白濁



腹白粒
腹側が白濁



背白粒
背側が白濁

※玄米の胚を下にして立てた際に、胚がある側を腹側、反対側を背側と呼びます。

®は日本農業(株)の登録商標

「WCS用稲に使用できる農薬のリスト」に記載

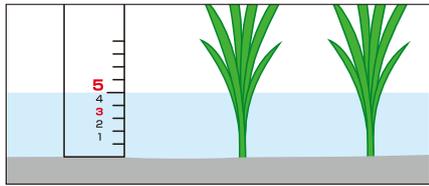


〈写真はイメージです〉

上手な使い方

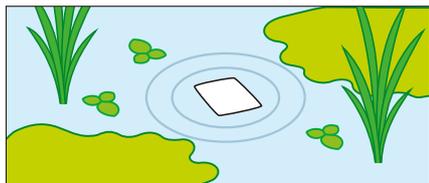
散布後3～4日の水深に注意

散布後3～4日間は3～5cm(程度)の水深を保ちましょう。



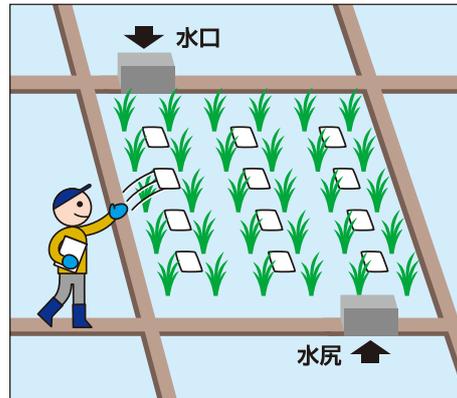
藻や浮草に注意

藻や浮草、雑草が繁茂している水田では拡散が不十分となり効果の劣る可能性があります。



水管理と散布の注意

散布前に、水口・水尻がしっかり閉まっているか確認しましょう。また散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。



**10アール当り
10～15個の割合で
均等に投げ入れて
ください。**

■使用目的・適用病害虫および使用方法

<2025年8月現在の登録内容>

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	登熟歩合向上	小包装(バック)15個 (1125g)/10a	出穂10～20日前 但し、収穫14日前まで	2回以内	水田に小包装(バック)のまま投げ入れる	3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内)
	高温登熟下における白未熟粒の発生軽減					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	小包装(バック)10～15個 (750～1125g)/10a	葉いもちに対しては初発7～10日前 穂いもちに対しては出穂10～30日前 但し、収穫14日前まで	2回以内	水田に小包装(バック)のまま投げ入れる	3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内)
	稲こうじ病					

注意事項

- 小包装(バック)に使用しているフィルムは水溶性のため、ぬれた手や汗ばんだ手で作業したり、降雨等で破袋しないように注意してください。
- 水溶性フィルムで小包装した製剤をそのまま、10アール当り10～15個の割合で水田に均一に投げ入れてください。
- 湛水状態(水深3～5cm)で投げ込み散布し、散布後少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。なお、極端な漏水田での使用はさけてください。
- 藻や浮草、雑草が繁茂している水田では拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるため使用をさけてください。
- 予防的に散布した場合に有効であり、葉いもち防除の使用適期は初発の7～10日前です。発生予察情報に注意して時期を失ないように早目に散布してください。穂いもち防除の使用適期は出穂20日前(葉いもちの発病程度、気象条件などにより出穂10～30日前)です。なお、本剤の使用適期は稲の品種あるいは地域により前後することがあり、また、多発時の散布は効果が劣る場合があります。
- 稲の登熟歩合向上を目的として使用する場合は、低温等生育不良条件下及び高温登熟条件下で効果的であるので、これらの条件下で使用することが望ましいです。
- 稲の高温登熟下における白未熟粒の発生軽減を目的として使用する場合は、高温登熟条件下で効果的であるので、この条件下で使用してください。
- 水溶性フィルムが破袋した場合は次の点に注意してください。
 1. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
 2. 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
 ●使用後の空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

2026年1月作成 全新企画社 P4202601005